



介護職はお年寄りの生活を支えるプロ

みんなは、介護職という職業があるのを知っていますか？今までみてきたように体がだんだん弱り、ふだんの生活がスムーズにいかなくなってきたお年寄りを支えることを「介護」といいます。介護職は、介護を仕事とする「介護」のプロフェッショナル(専門家)。つまり、お年寄りの生活を介護で幸せにする職業です。

お年寄りは、おとろえが進むと、ますます体が弱って、自分で歩くことも、食べることも、トイレに行くこともできなくなることがあります。それでもみんなのように、行きたい場所、会いたい人、食べたいものなどかなえたいことがあります。介護職は、そんなお年寄りの「〇〇したい！」という思いを大切に、一人ひとりの体の状態にあった介護をすることで、少しでもいきいきと自分らしくらせるように支えています。その人にあった介護をすることは、自分でできることを減らさないことにつながり、さらに、自分でできることを増やすことにもつながります。介護職は、そうやってお年寄りの生活を支えていくプロフェッショナル。とてもやりがいのある職業です。

プロとしての心構え

お年寄りの〇〇したい！という思いを大切にする

やりたいこと、好きなこと、求めている暮らし方など、その人らしさを知り、いきいきとらせるように支えている。

確かな知識と技術がある

プロならではの仕事

お年寄りが安全・快適に生活できるような介護。

けがや病気や事故がなく、安全・快適に生活できるように介護をする。

お年寄りが自分でできることを増やすような介護。

すべて助けてしまわずに、自分でできることは、お年寄り自ら行うように考えて介護をする。

お年寄りの生活のどんなことを支えているの？

まずは話しかけたり表情を見たりして、体の状態や気持ちを知り、何を必要としているのか、何をしてほしいのか、考えながら支えます。

着がえ

起きる

ねる準備

入浴

トイレ

移動

食事

歯みがき

薬を飲む

レクリエーション